



「親子の自己肯定感」を高め、地域ぐるみの子育てと多様な教育環境を創る 特定非営利活動法人 奈良情熱学校

■親子の笑顔を守るため子育て支援団体を設立

2013年、田中章友氏は経営コンサル業や企業研修講師、学習塾講師など教育関係の仕事に従事した経験を活かし、子育て支援団体「奈良情熱学校」を仲間と共に設立（翌年11月、特定非営利活動法人の認証）、理事長を務める。同法人では幼稚園教諭や保育士、カウンセリングの専門家などが集まり、地域ぐるみの子育てを支援。「親子の自己肯定感を高める」をモットーに、全ての子育て中の親とその子どもが笑顔で暮らせるための環境を創り出している。

■里山で自然農と遊びを経験する「森の中の情熱学校」

同法人は奈良県生駒市の耕作放棄地を活用した、自然の中での親子アクティビティ「森の中の情熱学校」を手掛ける。南生駒の里山にて多くの親子や異世代の子ども達が共に自然と触れ合い、自然農（農薬や化学肥料を一切与えない農業）による野菜の栽培・収穫にも取り組んでいる。虫や雑草と共存した自然農を通して「人は太陽、大地、雨や生物のお陰で生きている」という教育の本質を感じ取ってもらうことを目指している。

「幼少期に自然の中で親子一緒に、あるいは親以外の大人、異年齢の仲間と交友する経験は、子どもの成長に重要。自然と共存することは子ども達の人間本来の力を伸ばす。同時に、全員で子どもをゆったりと大きな一つの家族のように見守る環境の中で、大人が視野を広げ、新しい価値観を知ることにも役立つ」と、田中理事長は話す。

■子育てや教育関係の講演会・勉強会を開催

様々な情報が交錯する現在では、多くの母親・父親が子育てについて不安や悩みを抱えているという。同法人は「子育て＝自分育て」と考え、教育・子育ての専門家である同法人理事による勉強会や、著名人による特別講演会を毎年開催。保護者のコミュニティ形成や幅広い知識の習得、メン

タル面のサポートに尽力している。参加者からは、感動して「大泣きしてしまった」「早く子供に会いたくなった」などの声があり、毎回満席になるほど大変好評だという。

■どの親子も幸せに生きられる社会の実現を目指す

田中理事長は、親子不和や不登校・発達障害などに悩む多くの親子と出逢ってきた。保護者の悩みは複雑になっていることから、時には周りに知られにくいこともある。同法人は保護者の悩みに寄り添い、個の特性や感情を尊重することで親子の自己肯定感を育てている。

2019年より、人生や仕事を楽しみながら社会を良くしようとしている様々な分野のプロフェッショナルから、その人生の岐路や仕事の楽しさなどを学ぶ「生きる情熱学校」を始動。学生や大人が世代や職業を超えて互いに価値観を語り、学び合っているという。

奈良市主催の子ども事業でアドバイザーも務める田中理事長は「どの子どもも安心して個性を発揮し、子ども達とその保護者がより幸せに生きられる社会の実現に向けて活動を続けたい」と話す。

（八木陽子）



「森の中の情熱学校」の様子。子どもたちは自然に触れ、生き活きと活動している。



特定非営利活動法人 奈良情熱学校

〒630-8001 奈良県奈良市法華寺町 1373-5

TEL : 090-3994-5387

URL : <https://narajyonsu.jimdo.com/>

田中章友 理事長